

野田政権と闇社会の「点と線」

「事業仕分け」直前 野田、蓮舫、前原、細野らを赤坂の高級料亭で…

「怪しいタニマチ」疑惑の接待

野田政権と闇社会の「点と線」



「事業仕分け」直前 野田、蓮舫、
「怪しいタニ
疑惑の

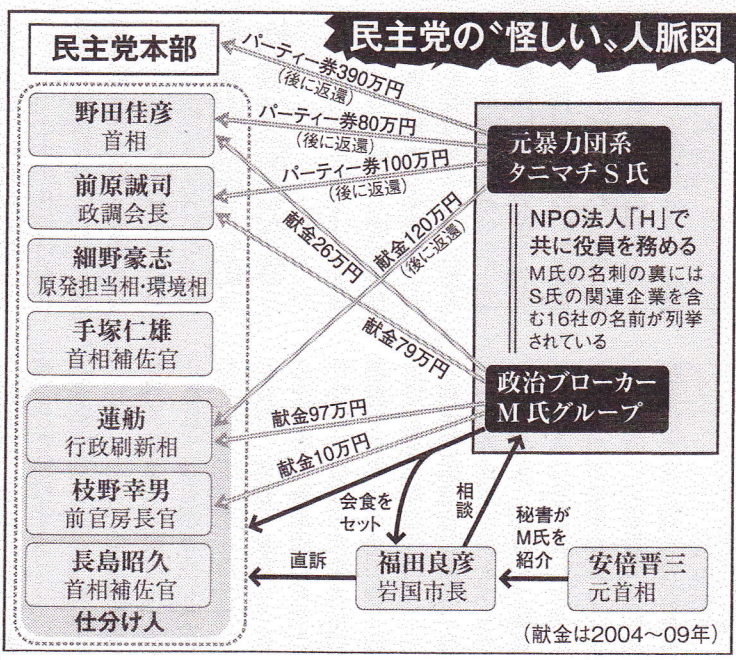
長官、国民新党の亀井静香代表らも写り、M氏らの政界人脈の広さを浮き彫りにするものだった。

冒頭の赤坂の料亭で撮影された写真に話を戻そう。白髪の紳士のM氏は後列で細野氏らと並んでいる。そして前列の長島氏(当時防衛政務官)の隣には意



外な人物が座っていた。米軍基地を抱える山口県岩国市の福田良彦市長だ。岩国市には、住宅防音や

小沢一郎の元秘書が描く実像 「悪党」 石川知裕 ニッポンの未来に「剛腕」は必要か



特定防衛施設周辺整備調整交付金、民生安定一般助成を合わせた基地周辺対策として毎年30億円前後の予算が国から支給されていた。その虎の子が事業仕分けの対象になり、福田市長は強い懸念を表明していた。「福田さんは危機感を持ち、旧知のMさんらに相談した。Mさんは、以前から自分の勉強会に呼んでいた仕分け

人の蓮舫さんたちとの宴席を急ぎよ設け、福田さんと引き合わせたんです(前出のメンバー) 真相はどうなのか。福田市長を直撃した。 参加した経緯は? 「私は市長になる前は自民党町村派の衆院議員で、Mさんとは安倍晋三先生の秘書のご紹介で知り合いました。事業仕分けが始まる前

に意見を言いたかったが、民主党のルールでは、要職にある人に陳情するには地元の民主党県連を通じて党本部の幹事長室へ上げるという手続きを取らなければならず、もどかしかった。Mさんに相談すると、「皆さんが来るから、そこで話をすればいい」と言われたので会合に参加しました」

「蓮舫さんと長島さんに『防音費などの助成や基地の交付金などは国防に協力している自治体にとって大事な予算なので、削減されると支障が出る』と説明しました。また、『国の助成は項目がバラバラで政策に集中投下しにくく、地元の裁量を通りづらいものも多い。有効に使えるようにしてほしい』とも要望しました。蓮舫さんは『専門家の意見も聞き、検討する』と言ってくれた。配慮していただいていたと思っています」

定価1680円 四六判上製 朝日新聞出版